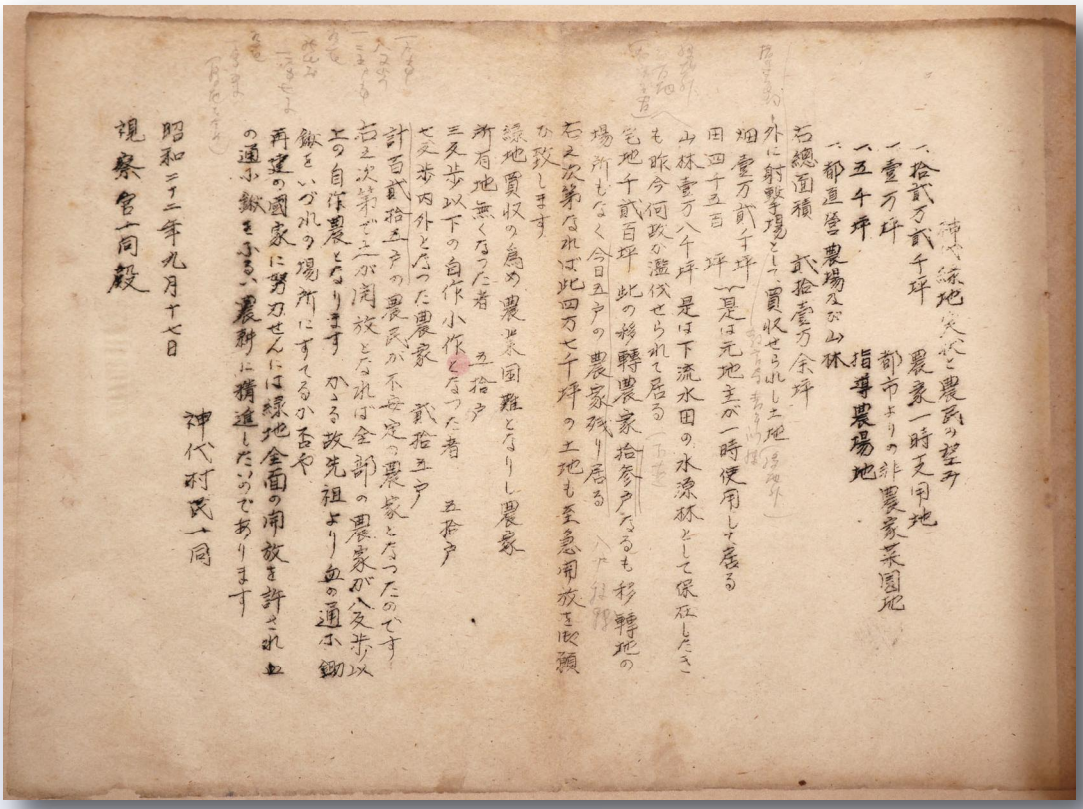
農地にかわった公園緑地



神代緑地の農民の陳情書　請求番号：あ 503.03.02

ＧＨＱによる占領の下で、地主に廉価で土地を売却させることで自作農を増やす農地改革が進められました。公園や緑地も戦争中、食糧生産に活用されたため、その対象となりました。戦時中に造成された神代大緑地で耕作していた農民が、「先祖より血の通ふ鋤鍬をいづれの場所にすてるか否や」と農業経営の継続を希望する陳情書を提出しています。こうした農家の声を背景に、都内の緑地の約63%が農地となりました。公園や緑地を重視する東京都の復興計画は、こうした農家の意向との調整を重ねながら進められました。